

お問い合わせ先

海上保安庁海洋情報部技術・国際課
海洋情報渉外官 三宅武治
電話 03-3541-3685



平成 21 年 10 月 13 日
海 上 保 安 庁

第 10 回東アジア水路委員会会議の開催について

海上保安庁は、10 月 15 日～ 17 日にシンガポールで開催される第 10 回東アジア水路委員会（EAHC）会議に参加します。

今次会議においては、航海用電子海図（ENC）の品質向上を目的としたタスクグループの活動強化、海図作製能力開発のための研修ロードマップ、域内加盟国の情報共有メカニズム構築等について議論されます。

1. 日程

平成 21 年 10 月 15 日（木）～ 10 月 17 日（土）

2. 場所

シンガポール

3. 出席者

海上保安庁海洋情報部長 加藤 茂 ほか 1 名

4. 主な議題

(1) ENC タスクグループ

各 EAHC 加盟国が刊行している ENC 間において、情報（等深線等）に連続性を持たせることを目的として、EAHC 内に ENC タスクグループが設置されている。

今般、2012 年から電子海図表示システム（ECDIS）の船舶への搭載が義務化されることを踏まえ、地域レベルで品質の高い ENC を提供できるよう、タスクグループの付託事項の再検討等が議論される。

(2) 能力開発（キャパシティビルディング）

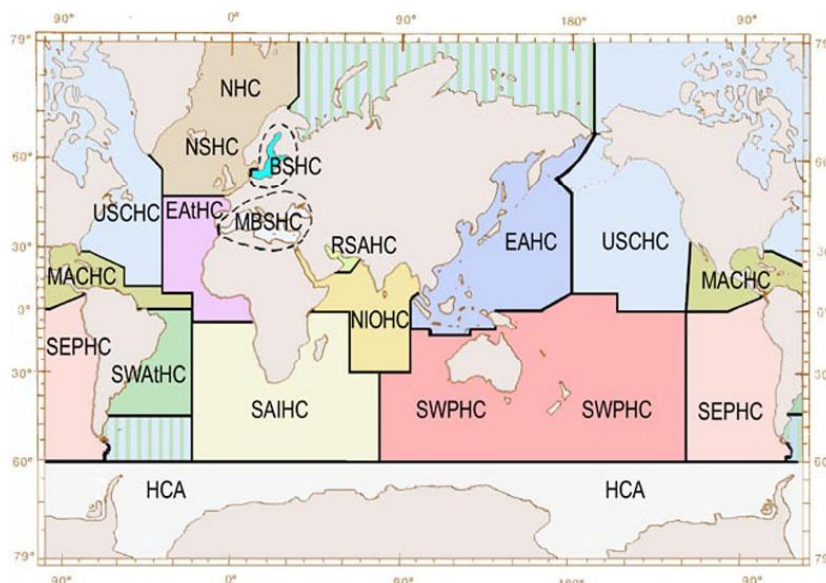
東アジア地域全体として海図作製の技術力を向上させるために、長期的な研修分野及び研修ロードマップについて議論される。

(3) 情報共有のメカニズム構築

国際水路機関（IHO）における委員会及び作業部会等の成果を、EAHC 各国で共有するメカニズムの構築について検討される。

(参考)

東アジア水路委員会: East Asia Hydrographic Commission (EAHC)
IHO の地域水路委員会の1つ(下図参照)で、1971年に設立。
加盟国: 9カ国(中国、インドネシア、日本、韓国、北朝鮮、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ)



IHO の地域水路委員会

国際水路機関: International Hydrographic Organization (IHO)
国際水路機関条約に基づく国際機関であり、航海の安全及び海洋環境の保護を支援するために1970年に設立。
(加盟国: 80カ国)

航海用電子海図: Electronic Navigational Chart (ENC)
安全で効率的な船舶の運航を支えるため、海図情報を電子化した海図。

電子海図表示システム: Electronic Chart Display and Information System (ECDIS)

ENC を画面上に表示させる装置のこと。従来の紙海図の情報に加えて、画面上に自船等の位置や速力、針路などの情報を表示することができ、また、浅瀬など危険海域に近づいた時に警報を発することができる。